

平成29年5月25日

関西電力株式会社  
美浜発電所長 宮越裕久 殿

美浜原子力規制事務所  
統括原子力保安検査官 館内政昭

安全文化・組織風土劣化防止に係る取り組みの総合評価について（指導）

平成28年4月1日から平成29年3月31日に行われた、美浜発電所における安全文化醸成活動については、以下のとおり評価しましたので通知します。取り組み要請事項については、確実に実行されるよう求めます。

#### 記

（取組み要請事項）

【常に問いかける姿勢】

日々の保安活動を実施するにあたっては、行動を起こす前に一旦立ち止まり、再考するなどして自らの行為に対して疑問を持つ姿勢について、更に充実させることに努めて頂きたい。

（奨揚がふさわしい取組み）

効果的なコミュニケーションの実施を図るため、平成28年度から新規入構者を識別して、既に入構している者とのコミュニケーションが効果的に実施できる運用としたこと、所長のメッセージビデオを作製し協力企業に視聴依頼してトップの考え方を周知することなど、「コミュニケーション」の改善を図る取組が行われていると評価する。

(総合所見)

平成28年度の計画に揚げた取り組みは、発電所全体で実施されていたことを確認した。また、28年度から効果的なコミュニケーションを図るため、新たな取り組みを開始するとともに効果が出ていることから「継続的な改善が行われてきている」と評価する。

また、劣化兆候については、立ち止まって業務を再考するなど、疑問を持つ姿勢の充実が必要であることから、「常に問いかける姿勢」に対する更なる向上が必要である。他方、「学習する組織」については自主的な問題解決への対応およびモチベーション維持の取組等が向上していることから、「改善傾向が見られる。」と評価できる。但し自己満足することなく継続的監視が望まれる。

「取り組み要請事項」を踏まえて、PDCAを廻し、なお一層の安全文化の醸成を進めて頂きたい。

以上